

2025年6月1日

神戸学園都市 YMCA こども園 6月えんだより

6月の聖句「求めなさい。そうすれば、与えられる。

探しなさい。そうすれば、見つかる」

マタイによる福音書7章7節

春から夏へ移り変わりの季節。気温も春と夏を行ったり来たりする中で、少し体調を崩す子どもたちもいました。これから梅雨を迎え、より体に厳しい季節を迎えますが、体調を整えつつ健康に過ごせるように気を付けて毎日を過ごしたいと思います。

先日、「世界で一番貧しい大統領」と言われたホセ・ムカヒ氏が天に召されたとのニュースを耳にしました。ウルグアイの首都、モンテビデオの郊外で貧しい家庭に生まれたムカヒ元大統領は、幼い頃に父親を亡くし、貧困や格差に矛盾を感じる中で若い頃は反政府ゲリラ組織に参加。軍事政権下では十数年にわたって刑務所に収監されていたそうです。その後、政治家として活動し、2010年から5年間にわたって大統領の職を務めました。大統領在任中も公邸ではなく、郊外の農場で質素な生活を受け収入の多くを貧しい人々に寄付していたそうです。ムカヒ元大統領が残した言葉に「貧乏な人とは、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことだ。」というものがありました。また、「わたしは、自分を貧しいとは思っていない。いまあるもので満足しているだけだ。わたしが質素でいるのは、自由でいたいからだ。」とも。そして、若者へのメッセージとして、「欲しいものを買う代金を払うために働いて、年を取るまで働き続けた先には『自分の人生は何だったのか』と疑問が残る。だから、生きるための大義名分を見つけることが大切だ。」といった言葉も残しています。

大統領就任中に参加した2012年の国連持続可能な開発会議では、「発展は幸福を阻害するものであってはいけません。発展は人類に幸福をもたらすものでなくてはならない。愛を育むこと、人間関係を築くこと、子どもを育てること、友達を持つこと、そして必要最低限の物を持つこと。発展はこれらをもたらすべきだ。幸福が私たちのもっとも大切なものだから。環境のために戦うのであれば、人類の幸福こそが環境の一番大切な要素であるということを覚えておかなくてはならない。」とスピーチを行い、多くの称賛を浴びました。

私たちは、毎日の生活の中で多くのものを求め、探し、与えられたものやみつけたものに飽き足らず、更に求め、探し続けるといったことを続けています。「世界で一番貧しい〇〇」になることを求めることは難しいかもしれません。けれども、目に見えるものを求め、探すのではなく、こども園の、そして世界中の子どもたちが、神様の大きな愛の中で「大義名分をもって歩めるような」若者となれることを望み、祈りつつ一日一日を大切に歩みたいと思います。

6月	乳児（0,1,2歳児）	幼児（3,4,5歳児）
月主題	なにか	かんじる
月の願い	・保育者の祈りやさんびかの中に身を置く ・まわりの人やものに関心を持ち、遊びを広げていく ・まわりの自然に触れ親しみ、体で感じる	・聖書のお話の中に、神さまの私たちへの愛やまもりを感じる。 ・興味を持ったことからの探求を楽しみ、体験や知識を広げていく。 ・砂や泥、水などに触れ、おもしろそう、何だろう、やってみようと思う
讃美歌	「ひとりひとりのなをよんで」 幼児讃美歌Ⅱ20	「きみがすきだって」 こども改132